

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻と原発攻撃に抗議し即時停戦を求める声明

2022年3月7日

生活クラブ生活協同組合北海道

理事長 山崎栄子

専務理事 高階洋介

2022年2月24日に開始されたロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、3月4日ウクライナ最大級のザポロジエ原発を砲撃し制圧するという暴挙に至りました。これは一歩間違えば、全人類を危険にさらすような大惨事になり、さらには国際法を踏みにじった侵略行為であり即座に軍事侵攻を停止すべきです。

稼働中の原発が攻撃された例は過去にありません。原子炉が直撃を受ければ、放射性物質が広くまき散らされ、燃料を冷却する外部電源が失われることがあれば、メルトダウンを引き起こす危険もあります。原発が攻撃されることはあってはなりません。

私たちは、今起きているウクライナの人々の現状を止められないもどかしさを感じています。しかし今だからこそ日本国憲法の不戦の意思を世界へ広げていくことが日本の役割ではないでしょうか。日本政府に対して、武力によらない平和外交でのリーダーシップを求めます。

安倍晋三元首相は核兵器を日米で共同運用する「核共有」について言及し、議論の必要性を訴えたことは信じがたい発言です。日本は唯一の被爆国であり、核兵器を「持たず、つくらず、持ち込ませず」という非核三原則のもと、二度と核兵器の使用を認めない、それを絶対に許さないという国際社会への日本からの強いメッセージの発信こそ必要です。

生活クラブは国内・地域での自給力向上をめざす活動に取り組んでいる生活協同組合です。これまで、国内の生産者とともに食料の自給力向上に取り組み、国外の生産者とも健全で対等な交易関係をつくってきました。原発災害を自分たちの問題としてとらえ、チェルノブイリ原発事故以来一貫して泊原発廃炉への運動に取り組み、2011年の東京電力福島第一原発事故以降は、再生可能エネルギーの自給力向上にも取り組んでいます。サステイナブルな環境と社会を未来の世代に手渡すことにこそ必要です。

いまを生きる人々を傷つけ苦しめ、未来の世代へ手渡す地球を核で汚染し痛めつける行為を許すことは出来ません。人々の暮らしの大前提である平和を守るために、私たちは、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に反対し核兵器を含む一切の武力行使の即時停止と軍の即時撤退を求めます。